

## リフォームドクター第2回研修会

「救命救急と建築にかかわること」 平成28年9月18日（日）

佐賀大学医学部看護学科、講義室

好例になった「リフォームドクター研修会」も2回目を迎えました。今回は、「救命救急と建築にかかわること」の演題で、佐賀大学医学部の阪本雄一郎先生に、佐賀県内の救命救急の対応について、佐賀大学医学部の救命ヘリ及び救急車の配置状況と、現在佐賀県内を唐津赤十字病院・嬉野・県立病院好生館の四か所で、曜日を調整し確保している状況を説明頂き、更に、佐賀県と隣接県との相互協力体制を確保していることを教えて頂きました。また、佐賀大学医学部の救命救急のヘリポートは、建物の屋上と地上の2か所に有り、他の地区から迎えたヘリに対する燃料給油体制も整えているとのことです。更に、病院内にドクターカー（医師同上救急車）の設置も有り、事故で心肺停止の方々が救われております。今後も、更に携帯電話の進化に伴い、救命率が上昇して行きますとのことでした。



佐賀大学医学部の阪本雄一郎先生の講義、全景

第二部は、佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター・松尾清美准教授より、「高位頸髄損傷者の生活環境と住まい方」の演題で、講義を頂き、損傷した脊髄神経は、現在の医学をもってしても回復させることが出来ない。受傷直後から医学的治療やリハビリテーション訓練で二次障害を防ぎつつ、身体の障害を受容して頂きながら、入院生活から自宅復帰の可能性を探るため、当研究室における住宅改造相談の状況をまとめ、どのような生活環境でどのような生活が可能となるのかを調べるために、実際に在宅で生活している実態調査を行って、住宅改造の重要点を隙間と段差をすくなくする。特に、トイレ・浴室・玄関等の隙間・段差を少なく持っていく計画をする等注意することを教えて頂いた。

佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター・松尾清美准教授の講義、全景

